◉ 未音のふるさとワーホリー人旅：モデルコース紹介

■ 二泊三日バージョン

〝一人と街、少しずつ呼吸を合わせて。〟

Day1

・空港バスで鳥取駅へ。宿はサンロード商店街内「tannma」。

・着いたらすぐ1階共有地で営業していたシェア

カフェさんと話、街の情報を仕入れる

・「上田ビル」へ。アンティーク雑貨店「サンタナ」で店主と話し込む。

・斜向かいの「tottoriカルマ」へ立ち寄り、写真展の作家と対話。店長さんとも雑談

・夜は「TAOカフェ」で静かに食事。

Day2

・商店街のラジオ体操に参加した後、「不真面目商店」のモーニング。おばあちゃんたちが並べた朝食を囲んで、学生たちと笑い合う。

・「森の生活者」でベーグルをテイクアウト。・午後は「sheep sheep books」でお気に入りの本を見つけて読書時間。

・夕方、「日の丸温泉」へ。

・夜は「寿司の北海道」で地場の魚介を味わう。

Day3

・「みつけどり」で児童書と静かな時間。

・ラーメン「鳥人」で早めの昼食をとり、空港バスで帰路へ。

■ 6泊7日バージョン

〝暮らすように働く、旅するように繋がる。〞

Day1

・tannmaにチェックイン後、鳥取駅周辺をぶらり。

・「ボルゾイレコード」で好きなアーティストを伝え、音楽の話題に花が咲く。

・tottoriカルマで地域の人たちと挨拶。

Day2

・まちの掃除に参加。tannmaの階段や共有スペースを整える。

・午後は「うわの空」でリソグラフ体験。ZINE印刷の可能性に触れる。

・夜はTAOカフェでワーキングタイム＆ご飯。

Day3

・「不真面目商店」のモーニングで地元の空気に馴染む。

・午後は「まんまる」で店番。今日の店頭出店に来たお客さん達とも立ち話。その後静かな読書時間を過ごす。

・夜は温泉「ポカポカ温泉」へ。

Day4

・車で松崎の「汽水空港」へ。本と湖、ゆったりした空間に癒やされる。

・近くのゲストハウス「たみ」や「jig theater」も覗く。

・帰り着いて「森の生活者」でベーグル。

Day5

・午前は「ハレハレケケケ」の人たちとラジオ体操に参加。

・仕込みや準備の手伝いをして地域出店イベントのサポート。

・夜は商店街の夜市で「box tree′s」として出店。お菓子とアクセサリーが好評。

Day6

・「青宿」訪問。故やまぐちめぐみさんの原画を見に足をのばす。

・夕方はモノローグに立ち寄って話し込む

Day7

・最後に「みつけどり」で自分用に絵本を購入。

・花見橋角の「krow toコーヒー」でひと息つき、バスで空港へ。

■ 2週間バージョン

〝小さなつながりが、自分の地図になっていく。〟

前半（Day1〜7）

・6泊7日バージョンと同様。

・滞在中の火曜・金曜は「不真面目商店」のモーニングで地元学生たちと交流。

・「うわの空」でのZINE制作が始まる。

・「ハレハレケケケ市」で出店者と知り合い、地元の繋がりが増えていく。

後半（Day8〜14）

・「県立美術館」でのイベント出店（ティーモア × カルマ）。

→午後3時〜夜8時、MIONも店頭で販売補助＆自作の品を展示販売。

・空いた日は、近郊の「necco」や「トゥジュール」などへ足をのばす。

・「夜長茶廊」（倉吉）へは車で遠出し、カレーと空間に満たされる。

・「しゃんしゃん祭り」ではカルマの出店をサポート。

・ZINE制作のラストスパート。リソで刷り、まちの人へ手渡す準備。

◉ 滞在後記

旅の終盤、カルマで出会った陶芸家と今後のコラボの話が浮かび、自分の創作の幅が広がる予感。

「また秋に来ようと思う」そう思いながら、駅前で最後の一杯。花見橋の「krow to coffee」

◉ 手描き風滞在マップ（抜粋）制作中

- 鳥取駅／tannma（宿）
- 上田ビル（サンタナ、うわの空）
- crow2コーヒー／sheep sheep books
- 森の生活者（袋川）
- ラーメン鳥人／寿司の北海道
- 不真面目商店／tottoriカルマ

- みつけどり（市内15分）
- TAOカフェ（徒歩5分）
- 青宿（車で30分）
- 汽水空港（車で45分）
- 夜長茶廊（倉吉・車で1時間）

◉ 旅で出会った人たちのコメント

- 「未音」さんのお菓子、また食べたいな」– 不真面目商店の学生
- 「静かに読書できてよかったですね、また、続きを読みにいらっしゃい」– まんまるスタッフ
- 「また一緒に出店しようよ！」– ハレハレケケケ市 出店仲間
- 「ZINE、すごくいい色。また刷りに来て」– うわの空の人
- 「秋にまた、会いましょう」– カルマ 店番